

企業日本語カリキュラム開発検討委員会

企業日本語カリキュラム開発検討委員会における委員構成は、以下のとおりである。また、カリキュラム開発に必要な具体的な資料や情報を収集するために、同検討委員会の下部組織として、前年度と同様、調査部会、研究部会を設置して活動した。部会員構成は以下のとおりである。

活動と収集物の活用に関して、財団法人浜松国際交流協会、関係企業、独立行政法人国立国語研究所との間で書面による提携関係を明確にした。その一環として、独立行政法人国立国語研究所の職員がアドバイザー出席した。

企業日本語カリキュラム開発検討委員会

本委員会は、「企業日本語カリキュラムの開発」の基本方針と、調査部会及び研究部会の統括、報告書の作成を行うことを目的とする。2回開催。委員は、以下のとおり。(敬称略・順不同)

1. 春原 憲一郎 (財団法人海外技術者研修協会日本語教育センター長)
2. 石岡 修 (ヤマハ発動機株式会社 IMカンパニー事業推進部長)
3. 高見 成保 (ヤマハファインテック株式会社管理部長)
4. 森 重信 (浜松商工会議所理事・事務局長)
5. 神吉 宇一 (財団法人海外技術者研修協会)
6. 官司 恭子 (浜松日本語センター所長)
7. 米勢 治子 (浜松学院大学教授)
8. 中村 利恵子 (日本語ボランティア講師)
9. 永井 昌己 (中日新聞東海本社報道部長)
10. 安井 寿男 (浜松市企画部参与)
11. 川合 文男 (財団法人浜松国際交流協会専務理事)

※事業アドバイザー

柳澤 好昭 (独立行政法人国立国語研究所日本語教育基盤情報センター長)

調査部会

本部会は、前年度の調査の補足、前年度の知見を踏まえ、他業種、異なる作業の企業を対象に調査や情報資料収集を行い、企業日本語カリキュラムの開発の基礎資料を作成することを目的とする。4回開催。委員は、以下のとおり。

1. 犬塚 智子 (ヤマハファインテック株式会社管理部管理課課長)

2. 杉山 進（ヤマハファインテック株式会社モバイルコンポーネント事業部MC生産部MG生産課工長）
3. 山崎 新二（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー職長）
4. 岩倉 成洋（調査員代表）

研究部会

本部会は、調査部会が得た知見や様々な情報資料をもとに、「企業日本語カリキュラムの開発」の素案を作成することを目的とする。10回開催。委員は、以下のとおり。

1. 神吉 宇一（海外技術者研修協会）
2. 米勢 治子（浜松学院大学教授）
3. 石岡 修（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー事業推進部長）
4. 山屋 宏（ヤマハ発動機株式会社IMカンパニー主管）
5. 高見 成保（ヤマハファインテック株式会社管理部長）
6. 犬塚 智子（ヤマハファインテック株式会社管理部管理課課長）
7. 中村 利恵子（日本語ボランティア講師）
8. 松本 三知代（日本語ボランティア講師）

※調査研究協力

金田 智子（独立行政法人国立国語研究所日本語教育基盤情報センター学習項目グループ長）